



B.F.C. 体験活動

6月6日(火)に B.F.C.体験活動として、福岡市防災センター、福岡市消防局東消防署水上出張所を訪れました。防火・防災に係る活動を通して、体感的に知識や考えを得ること。そして、それらをもとに減災・防災の観点から、よりよい生活を創り出そうとする態度を育てることを目的としており、生徒それぞれが個別のめあてをもって体験活動に臨みました。

福岡市防災センターでは、火災の VR 体験や避難体験や消火器を使った消火訓練、地震体験を体験しましたが、B.F.C.隊員としての視点を常にもって考え行動する姿に、B.F.C.活動が生徒たちの心に根付いた活動になっていることを実感しました。



消火器の使い方は火事になってパニックになっても忘れず落ち着いて使えるようにしたいなと思いました。火事を見つけたらすぐに叫んで危険を伝えることが大事ということがわかりました。(1年 葉さん)



震度7の地震を体験してみて、地震が来るとわかっていただけなら耐えられるけど、いつ来るかわからないから突然来たときは耐えられないほど揺れが強かったです。もしその場で立っていたら必ず倒れていたと思います。(1年 紗良さん)



福岡市消防局東消防署水上出張所では、消防艇「飛龍」の見学や様々な機能を備えた消防車の見学など、初めての体験に目を輝かせる生徒たちの姿がありました。生徒たちにとって身近な海での事故やそれらから私たちを守る方たちのお仕事の話は、島を守ろうとする生徒たちの思いと通じるところがあると感じたようです。また、消防車のポンプと自分たちが日頃使用している軽可搬ポンプ車との違いに驚きもありました。改めて B.F.C.活動の意義と大切さを感じることができた1日となりました。

一般客という視点で見ると BFC 隊員という視点で見るとでは全然見え方が違いました。もちろん、日常生活で活かせることもたくさんありましたが、BFC 隊員として見るからこそ理解できることがたくさんあったと感じました。(2年 妃那さん)

地震の体験で実際に震度7の地震がどのくらいなのか、体感することができました。実際に震度7の地震が起きたとき、自分はどんな行動をすれば良いのかなどたくさん考えることができました。(3年 紗瑛子さん)

授業参観・救命講習・海岸清掃

6月16日(土)に授業参観、救命講習、海岸清掃を実施しました。

授業参観では7名の保護者の皆様がご来校くださり、生徒の様子を見学していただいたり、生徒と一緒に課題を考えたりしていただきました。

また、救命講習では海上保安庁から講師をお招きし、主に海に係る危険についての講義や人形を用いた心肺蘇生法についての演習を行いました。海のプロから教わることは生徒たちにとって身近に起こりうるが多く、それを保護者の方々と一緒に共有できたことはとても有意義だったと思います。

午後からは、水泳の学習で使用する海岸の掃除を小中合同で行いました。暑い中でしたが、生徒たちは小さなゴミも逃すまいと時間いっぱいゴミを集めていました。ご協力いただいた保護者の皆様も、本当にありがとうございました。

別日に島の男性保護者の方々に、筏とオイルフェンスの設置もしていただきました。相島小学校、分校に係る皆様のご協力で、今年も水泳の授業に向けての準備を整えることができたことに感謝し、水泳の学習に臨みます。



残念ながら、6月は水温の低さや雷注意報のため水泳を実施できませんでした。7月の残りの授業で天候に恵まれることを期待しています。ご参観お待ちしております。



